

----数学の役立つ姿を見せるのが利く---

MAJ/SGK 片瀬 豊

数学の項目毎に数学の役立つ姿をコンピュータで抽出して見せる CD を提供する。進度と要請に合った数学項目に対するページのコピ-を渡して自習して貰う。効果の観察を続ける。

この方式の必要且つ有効性を裏書する事象を解説する

- 1.補修授業では進度差で時間が無効になる。
2. 出前授業のアンケートで数学が役に立つかどうか解らないので数学に向かわない。
- 3.一般に人間は自分にとって必要なものは人に言われなくても学習する。
- 4.OECD の国際学習到達度調査で日本の学生は数学的リテラシ-において低位である。
- 5.大学の入試で数学に記述方式を採用する事になる。
- 6.AI (人工頭脳) を研究している新井紀子氏の見解で学生の読解力こそ重要である。
- 7.数学イノベーション拡充のため抽象世界と複雑現実世界の往復運動を中高から取り組んで欲しい。

◇ 数学月間の 勘所・着眼・焦点

- | | |
|----------------------------|-----------|
| A 数学系と連携して研究の能率を上げる。 | JOINT |
| B 数学を活用して社会諸分野のイノベーションを計る。 | AWARENESS |
| C 数学は役に立つ、教育の生産性を上げる。 | LITERACY |

◇ 米国 MAM のコメント

数学に関する AWARENESS は決して終わる事はない。イノベーションは世界経済発展のため重要性を増している。製造、材料、エネルギー、生物化学、健康ケア、情報網、知的・ビジネスサービス等の経済的尺度の鍵として特に重要である。

米国	数学月間	MAM ; Mathematics Awareness Month
	数学協会	MAA : Mathematical Association of America
		JPBM; Joint Policy Board for Mathematics
日本	数学月間の会	SGK ; Suhgaku Gekkan no Kai
	数学協会	MAJ ; Mathematical Association of Japan
		Mathematics Awareness of Japan